

# 一年でひっくり返った米 原価に値段が届かない

昨年6月、このニュース53号で「コメ」の問題を取り上げました。あのとき書いたのは、価格の高騰です。店頭価格が過去最高を更新し、備蓄米の放出が始まった頃でした。そして今、地域で聞くのは正反対の声です。「この値段では、来年の米は作れない」。わずか一年余りで、風景は完全に反転しました。

## 《現状》

日本の食料自給率は過去最低の37%。他方でコメの自給率はほぼ100%で、食料安全保障の要であることに変わりはありません。しかし、それを支える現場は細り続けています。基幹的農業従事者はついに100万人を割り込み、15年でおよそ半減しました。

## 《米価はなぜ下がったのか》

昨年の高騰は需給バランスが崩れたことによるものですが、今回の下落はその逆です。高値を受けて作付け意欲が高まり大幅な増産となった結果、民間在庫は過去最大規模まで積み上がりました。

在庫が余れば、価格は下がります。家計には朗報ですが、値下がりには生産者の手取りの減少と表裏一体です。JAが生産者に前払いする概算金は、全国で前年産を2.4割下回りしました。愛知でも「強いショック」との声が上がっています。

## 《「コスト指標」という新しい物差し》

今年から新たに加わった仕組みがあります。4月に全面施行された食料システム法です。

これは単なる取引ルールの整備ではありません。「作る人が費用を回収できなければ、食料は続かない」「再生産可能な価格」という当たり前のことを、制度として認めた法律です。費用を考慮した協議の申出には誠実に応じることを努力義務とし、あわせてコメなどについて、認定団体が生産・集荷・卸売・小売までの費用を積み上げた「コスト指標」を公表する仕組みが設けられました。

ただ、価格を約束するものではなく、「これを下回れば平均的にコスト割れになる」と交渉の場で示すための、共通のものさしです。精米5kg当たり2,816円。このうち生産段階は玄米60kg当たり2万535円です。

## 《現実が、その指標を下回った》

ところが今年示された概算金の多くが、この生産段階のコスト指標2万535円を下回りました。制度が動き出した最初の年に、制度が示した水準に現実が届かなかったのです。

一方で、コメを作る費用そのものは上がり続けています。肥料、燃料、農薬、農業機械。円安と中東情勢を背景とした資材高が現場を直撃してきました。売る値段は下がり、作る

費用は上がる。ここに今回の深刻さがあります。

私自身、素人ながら田んぼに入る中で、一年の時間がどれほどのものか、ほんの少しですが実感しています。その一年分が、価格の変動一つで報われなくなる。それが今、農業で起きていることです。

## 《今後の制度の動き》

制度は二年続けて動きます。本年7月に改正食糧法が成立し「生産者が主体的に需要に応じた生産」が法律に明記されました。令和9年度からは水田政策が見直され、交付金は作物ごとの支援へ転換、5年水張り要件も求められなくなります。

## 《結びに》

食料安全保障は、輸入が止まったときに初めて考えるものではありません。今日、田んぼが一枚守られているかどうかの積み重ねです。

そしてそれは、コメだけの話ではありません。ここ東三河の農家の皆さんからお話を伺っていると、資材が上がり手取りが下がるという構図は、キャベツにも菊にも豚にも、そのまま当てはまります。コメで起きていることは、この地域の農業全体で起きていることでもあります。

現場の声と数字を持って、秋の国会に臨んでまいります。

衆議院議員

山本左近



H.P. YouTube Twitter Facebook Instagram



やまもと・さとしん

愛知県豊橋市出身。1982年7月9日生まれ。44歳。豊橋南高校卒業、南山大学。11歳、レーシングキャリアスタート。19歳、単身渡欧24歳、当時日本人最年少F1ドライバードビュー。30歳、帰国後、医療介護福祉の世界に。医療法人・社会福祉法人さわらびグループの統括本部長就任。2019年第25回参議院議員通常選挙(比例代表)に自民党公認で立候補し、落選。2021年第49回衆議院議員総選挙(東海ブロック比例代表)に自民党公認で立候補し初当選。当選直後から、合成燃料の国産化の必要性を訴え、3年以内に日本初の実証プラントの稼働を実現した。また、2022年8月、初当選後一年に満たない中、文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官に異例の抜擢。科学技術・文化の担務を中心に活躍。2024年第50回衆議院議員総選挙にて落選。2026年第51回衆議院議員総選挙にて2期目の当選。英語スペイン語を話すマルチリンガル。



# 資料解説

## コメ価格とコスト指標等について

令和8年8月千葉豪雨によりお亡くなりになられた方々に心より哀悼の意を表し、ご遺族の皆様に謹んでお悔やみ申し上げます。また、被災されたすべての皆様に心からお見舞い申し上げます。住宅の浸水をはじめ、道路、農地、地域産業など広範囲に甚大な被害が発生しています。厳しい暑さの中、復旧にあたられている皆様に深く敬意を表します。被災された皆様の生活と生業の再建、一日も早い復旧・復興に向け、必要な支援が迅速に届くよう取り組んでまいります。

### 5 kgの値段、一年余りの反転

スーパーなどの店頭平均価格（精米5kg当たり・税込）



2025年6月  
産米NEWS 33号 執筆時

-1,065円  
約1.2か月



2026年8月上旬  
本号 執筆時

資料：農林水産省「令和8年度米穀安定供給確保支援機構「米のコスト指標」（令和8年4月7日公表）」、各JA・経済連及び報道機関公表・報道

家計には朗報。  
しかしこの値下がり  
は生産者の手取りの  
減少と表裏一体で  
す。

### 各段階におけるコストの積み上がり

米のコスト指標（令和8年4月7日公表、玄米60kg当たり）



4段階合計  
30,412円

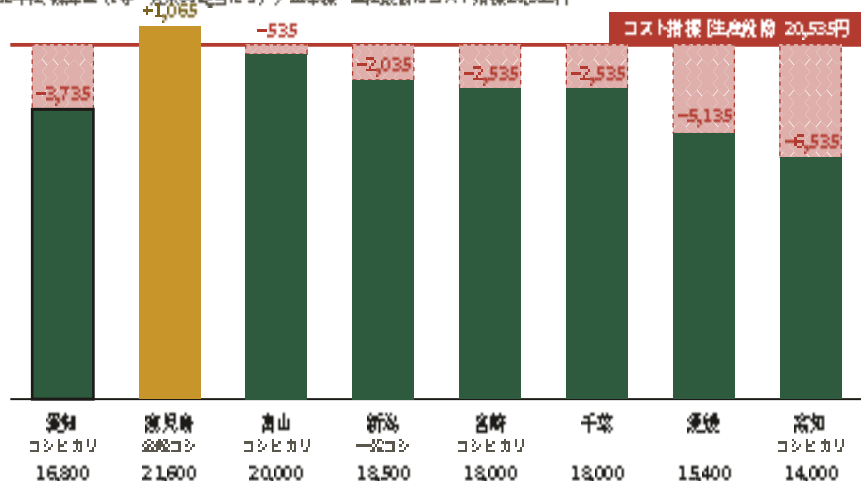
玄米1kg当たり  
506.9円

精米5kg換算  
2,816円

出典：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構「米のコスト指標」（令和8年4月7日公表）。

### 多くの産地で、概算金がコスト指標を下回る

令和8年度 概算金（1等・玄米60kg当たり）／基準額＝生産段階のコスト指標20,535円



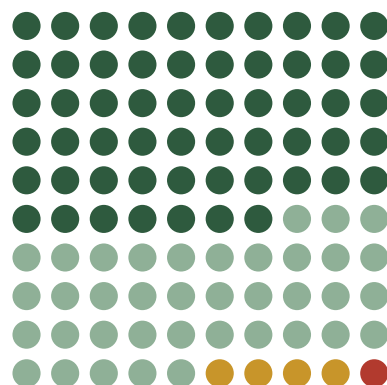
■ コスト指標との差額

※概算金は産地により「全農・経済連→JA」と「JA→生産者」で支払い段階が異なる。  
出典：米穀安定供給確保支援機構「米のコスト指標」（令和8年4月7日公表）、各JA・経済連及び報道機関公表・報道

### つくる人が、いなくなっていく

稲作専業従事者（自営農業を主な仕事とする個人）100人の内訳

単位＝1人（100人割合・推定）



● 70歳以上 56.5%  
● 40～60歳代 38.5%  
● 30歳代 3.8%  
● 29歳以下 1.2%

全国稲作専業従事者

98万6,600人

前年比▲4.8% 統計上はじめて100万人を割り込みました

平均年齢 67.7歳

資料：農林水産省「令和8年度米穀安定供給確保支援機構「米のコスト指標」（令和8年4月7日公表）」、各JA・経済連及び報道機関公表・報道



お盆期間中は、駅頭だけでなく市内各所で街頭演説を行いました。車からたくさんの方に手を振って応援いただき、ありがとうございました！まだまだ暑い日が続きますので、熱中症等に気をつけてどうぞご自愛ください。

8月15日の終戦の日は、愛知県戦没者追悼式に出席し、献花をしました。先の大戦で犠牲となられた全ての方々に謹んで哀悼の誠を捧げると共に、先人への感謝を胸に、今日の平和と豊かさを次の世代に引き継ぐため、全力で取り組んで参ります。

豊橋市南倫理法人会さん主催朝6時からの経営者モーニングセミナーで講話の機会をいただきました。テーマは、「日本を再び世界一の国へ」副題は「失敗」挑戦するから失敗がある。「失敗を恐れず、挑戦し、自らを変えられる国へ」。

8月19日は「バイクの日」田原市のあつみ市レイと潮音寺のコラボ企画が開催されていました。実行委員の皆様とお話しさせていただきました。バイク議連の一員として提言をまとめました。高速道路料金のは正や駐車場問題などライダーの皆さんの声をこれからも届けていきます。

**JAPAN as No.1 Again!**  
日本を再び世界一の国へ